

2024年6月27日

2024年3月期取締役会の実効性評価結果の概要

ドリームベッド株式会社
取締役会

1. 取締役会実効性評価の目的

当社は、企業経営を継続していく上で、コーポレート・ガバナンスの充実が重要であると認識しており、企業理念（基本理念及び経営方針）を実践して企業価値を高めるとともに、健全な経営管理体制の下で適時・適正な情報開示により、企業経営の透明性を確保することによって、コンプライアンス経営を積極的に推進してまいります。

このような基本的な考えの下、取締役会の現状を正しく認識のうえ評価することで、取締役会の機能向上を図ることを目的とするものです。

2. 評価方法

取締役及び監査役合計10名全員へ次の内容にて記名式アンケートを実施し、自由コメント欄を設けて、2024年3月期の1年間を評価対象期間として、取締役会に対してそれぞれ評価意見を聴取しました。

■アンケート内容

- ・取締役会の運営について
- ・取締役会の監督について
- ・取締役会事務局の対応について

25問+自由記入欄3問で実施。

■インタビュー内容

取締役及び監査役合計10名全員へ、上記自由コメント欄記載事項及び懸案事項について、アンケート集計結果に基づき、取締役会においてそれぞれ評価意見を聴取しました。

3. 評価結果

当社の取締役会は、その果たすべき実効性を十分に発揮していると評価します。

- ・決議事項に対して、取締役及び監査役において疑問点を残すことなく納得いくまで議論を重ねており、最終取締役において合理的判断がなされ、ガバナンス上その判断の公正性を監査役において監視できている。
- ・報告事項における社内各担当取締役からの報告に対して、社外取締役及び社外監査役より質問、助言を受ける形で、取締役及び監査役による自由闊達な議論がなされることで、取締役会として社内各担当取締役の業務監督に寄与している。

4. 課題(2024年3月期課題の対応状況)

当社取締役会は、2024年3月期の1年間を評価対象期間とした、前期アンケートから課題として捉えた次の項目に対して、それぞれ対応いたしました。

課題	対応	対応結果
資本コストや株価を意識した取組み	業績優先に中期経営計画施策を確実に実行する。そのため取締役会では数値的検証とともに株価に対する意見交換を実施。	中期経営計画の各施策は着実に実行しており、加えて利益確保を最優先事項としてその取組みの議論は実施されている。 株価に対しては資本コストや株価を意識した取組みとして、自己株式の取得など、本取締役会ほか意見交換会にて定期的に議論している。
取締役会資料の時間的猶予を持った提供	取締役会招集通知は規程上3日前配信であるところ、それ以前に案内通知しており、会議付随資料も十分に前もっての配信に努めておりますが、同資料の一部が3日前配信になっていない事例もあることから、事務局による社内情報収集と作業効率化により、時間的猶予をもって提供。	報告資料の収集分析により必ずしも3日前配信となっておらず、配信可能なものより随時展開している状況である。 引き続き前もって全役員が確認できるように、提示内容の改訂をもって是正を図る。

5. 課題(2025年3月期)

当社取締役会は、上記2. 評価方法におけるアンケートの分析結果を踏まえ、次の項目を課題として捉え、その改善に向け取り組んでまいります。

課題	対応
長期戦略（ビジネスチャンス、イノベーション戦略など）に対して、さらに議論を深める。	現取締役会においては、月次統制及び四半期見通しに基づき議論しておりますが、中長期的戦略としてのビジネスチャンスやイノベーション戦略などについて、取締役会や意見交換会の議題に織り込んで、さらに議論の機会を増やします。

課題	対応
新技術、新商品に対して、さらに情報共有し議論を深める。	上記同様に、業務執行取締役よりの月次報告において既に新商品関連は共有されているが、長期的視野をもつての新技術、新商品について、取締役会や意見交換会の議題に織り込んで、さらに議論の機会を増やす。

以上